

樹冠下ビニル被覆による あいかんすい ナシ「愛甘水」の収穫期前進化

樹冠下の地表面にビニル被覆を行うことにより「愛甘水」の収穫時期が4日前進し、販売開始期を早めます。

「愛甘水」は、「幸水」の前に販売する目的で現地導入されましたが、実際には、「幸水」と販売期間が一時重なることから、収穫時期をより前進化する技術が求められていました。

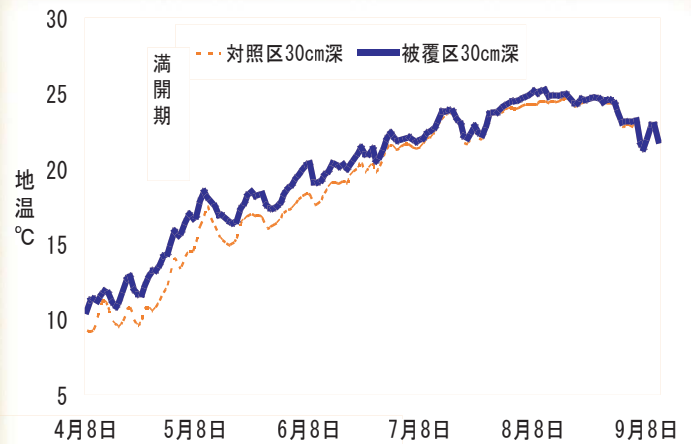


図1 樹幹下のビニル被覆の有無が地温に及ぼす影響 (世羅町2006年) ビニル被覆期間: 4月6日~9月12日

○被覆は、除草後十分なかん水または降雨後に4月初旬から梅雨明けを目安に行う。

○被覆資材は、2m幅に農ポリ(0.07mm)を二つ折りにした。

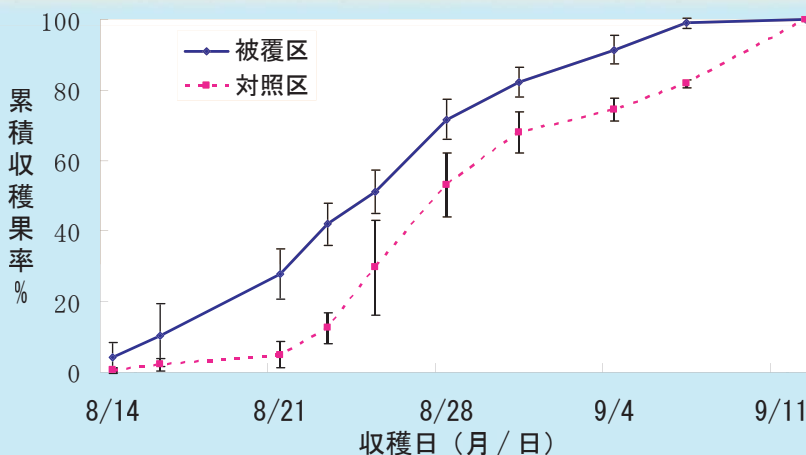


図2 樹冠下のビニル被覆の有無が累積収穫果率に及ぼす影響 (世羅町 2006年)

注) 縦線は標準誤差。ビニル被覆期間: 4月6日~9月12日

○4~6月は被覆による地温上昇効果大!

○7月からは、ビニル被覆内の雑草繁茂と棚面を葉が覆われるため地温上昇効果がみられなくなります。